

伊丹市立荒牧中学校 第2学年

みんなが英雄

平成28年10月19日(水) 第23号

「荒中ソーラン隊・グランプリ獲得」

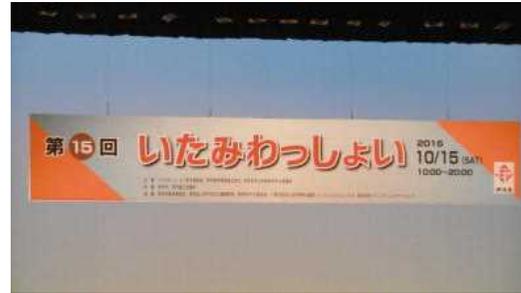
10月15日(土)に、いたみホール他2会場において、「第15回いたみわっしょい」が開催されました。「荒中ソーラン隊」は、元気な学校部門(中学校・高校の部)にエントリーし、いたみホールの舞台上で踊りを披露しました。

当日の朝から学校で練習を行った後、「いざ、出陣」と荒中ソーラン隊は、本日の舞台であるいたみホールへと向かいました。現地では、舞台での立ち位置確認を行い、あとは出番を待つのみでした。

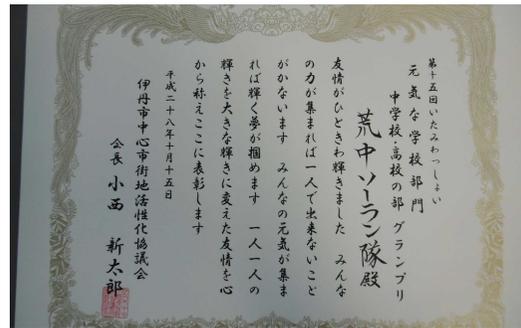
多くの先生方が見守る中、「荒中ソーラン隊」の出番がやってきました。静かな会場に流れる「雷節」から始まる「荒中ソーラン」は、いつも以上に力強く、迫力ある踊りでした。会場からは大きな拍手をいただいたことはいまでもありません。

すべての演技が終了した後の審査結果の発表では、中学校・高校部門において「グランプリ」をいただきました。みんなが一生懸命に練習した成果が、この結果をもたらしたといえます。これぞ**史上最強のソーラン**といえるものでした。

また、元気な学校部門には小学校の部があり「天小ソーラン部」も見事グランプリに輝きました。天小ソーラン部のみなさん、おめでとうございました。



踊り始めたソーラン隊



グランプリの表彰状



「荒中ソーラン」ラストシーン



みんなで記念撮影

「体育大会を終えて」生徒作文

2組 平川 拓海

ソーランリーダーとしての責任を果たす場でもある体育大会。3週間の間、とても大変でした。教えるということはとても苦労しました。始めの方はなかなか言うことを聞いてくれず、行動も起こしてくれず、苦労の連続でしたが、最後はみんなの踊りもそろい出し、なんとか責任を果たせました。

リレーでは、1位をとれてうれしかったです。ムカデは、残念な結果に終わってしまいましたが、今までの練習はけっして、無駄ではありませんでした。大縄は、総合3位、学年では1位を取ることができうれしかったです。回し手として、光栄です。

体育大会の運営では、サッカー部員として、体育大会の準備を手伝い、そして体育大会が成功して良かったと思います。

ソーランの本番は、本当に良かったです。しかし、もっともっと伸ばせる余地はあるのもっと頑張りたいです。もう少しで連体があります。もっとソーランを良いものにしたいです。行進も荒中を代表してしなければいけないので頑張りたいです。ソーランリーダーは、連体が終わって、役目を終えます。連体では、「史上最強の演技」をして、ソーランリーダーとしての役目を終えたいです。

1組 高橋 一生

僕はこの学校に転校してきたら体育大会の練習の真ただ中でした。その時僕は「みんなの足を引っばる」とか「いきなり来てみんなと団結できるかなあ」とかたくさん不安がありました。しかし、少しずつ体育大会に近づくにつれ、なくなってきました。

それは、先生からのことば、学級、学年の助け、周りから支えてくれているみんなのおかげで、僕は少しずつ距離を縮め、団結して練習に取り組めるようになりました。

本番の体育大会になって、1つ目の自分の演技100メートル走があった。これは当日まで自分がいつどこで走って、ゴールはどこなのかも分からない状態だったので不安でいっぱいでした。しかし、先生がしっかり教えて下さって、スムーズにできました。

次にソーランの演技では、一つ一つの動きができるか不安でしたが、今までの練習で、友だちがとてもいねいに教えてくれて、その通りに気持ちを出しきって、なんとかミスなくみんなと一緒にがんばれたと思います。かなり不安の多かったムカデ競走は、とにかく声を出してみんなと一緒に合わせて走ることをがんばりました。練習では、先生をはじめみんなが僕に気をつけてくれて、自分もコツをつかむことができ、みんなの期待に応えられたのかなと思います。

当日にしっかりでき、みんなからは「一生がんばったな」とか「すごいな」と言われたけど、僕がここで、少しの時間でがんばれたのは、先生やみんながいて、その助けなどでここまでこれたと思います。だから最初の不安だった、一人で何とかしようという自分から、みんなと力を合わせて頑張ろうという気持ちに変わっていったんだと思います。

まだ連体が残っているから、最後まで気を抜かずみんなと力を合わせてがんばりたいと思います。